

[全身状態] 元気そうに見える。遊んでおり、呼吸苦は認められず。体重 8.2kg(3rd percentile)、体温 39.3°C、心拍数 140bpm、呼吸数 42/min、SpO₂ 99%

[四肢]境界明瞭な 1cmx2cm の紅斑を伴う硬結を右前腕背側に認める。生検部位は乾燥しており、清潔。

[胸部]肺音：清

その他特記事項なし。

【入院時検査所見】

[生化]電解質・血糖・腎機能・肝機能に異常なし。その他は Table 1 参照。

[鼻腔分泌物] adenovirus、influenza virus A 型・B 型、parainfluenza virus 1 型・2型・3型、RS virus 陰性。

[胸部 CT]両肺野に複数の結節影を認める。一部は石灰化を伴う。大きいものは上葉にあり、最大のものは 2.6cmx1.7cmx1.9cm。一部の結節には肺門との連続性が認められ、胸膜へも浸潤している。縦隔・肺門・左液窩にリンパ節腫大と思われる軟部組織陰影を認める。

【入院後経過】

Acetaminophen と ibuprofen の経口投与、ceftriaxone の静注が行われた。

入院2日目体温 39.7°Cに上昇。ツベルクリン反応が行われ、早朝の胃分泌物が抗酸菌染色と培養に提出された。Isoniazid、ethambutol、pyrazinamide、rifampin が開始された。尿検査は正常で、陰部に付着したバッグから採取した尿培養では少数の mixed flora が認められた。便の培養、Clostridium difficile toxin の検査、寄生虫の検査が提出された。

次の 3 日間、早朝胃分泌物の抗酸菌染色と培養がさらに 2 回提出されたが、全て抗酸菌染色陰性であった。培養は結果待ち。入院 4 日目、体温 40°Cに上昇し、嘔吐を時折認めた。嘔吐は、白色の喀痰を伴う嗽咳に引き続いて起こることもあった。ツベルクリン反応では発赤認められず。入院5日目、体温は 34.6°C-40.1°Cであった。血清でCytomegalovirusに対するIgG抗体は認められたが、Epstein-Barr virusとhuman immunodeficiency virusの抗体は認められず。尿中に legionella、histoplasma 抗原認められず。他の検査結果は table 1 の通りであった。血液培養をさらに提出した。他の検査に関しては結果待ち。皮膚生検の標本では、nuclear debris と真菌の菌糸と思われる構造物を認めたが、深部の切片ではこれらは認められなかった。Ceftriaxone は中止され、meropenem と liposomal amphotericin が開始された。

入院 6 日目、吐物に血液が混じっており、便鮮血陽性であった。呼吸数が一過性に 66-75/分に上昇したが、SpO₂ は 98-100%であり、32-44/分に戻った。体温は 33.9-39.6°C。胸部 X 線では、両肺野に浸潤影が相変わらず認められた。入院 7 日目にある診断的手技が行われた。

Table 1. Results of Laboratory Tests.

Variable	Reference Range (Age-Adjusted)	20 Days before Admission in India*	Current Admission	4th Hospital Day	6th Hospital Day
Hematocrit (%)	33.0–39.0		33.7	33.8	26.8
Hemoglobin (g/dl)	10.5–13.5	11.0	11.5	11.1	8.9
White cells (per mm ³)	6.0x10 ³ –17.5x10 ³	32,800	28,900	36,400	24,700
Differential count (%)					
Neutrophils	17–49	42	37	39	45
Lymphocytes	67–77	56	61	47	31
Monocytes	4–11		1	7	8
Eosinophils	0–8	2	0	0	0
Basophils	0–3		0	0	1
Band forms	0–10		1	7	12
Atypical lymphocytes	0				3
Platelets (per mm ³)	150,000–450,000		396,000	465,000	319,000
Mean corpuscular volume (μm ³)	70–86		66	67	67
Red-cell morphology			3+ microcytes	3+ microcytes, 1+ hypochromia	3+ microcytes, 2+ hypochromia, rouleaux formation present
Erythrocyte sedimentation rate (mm/hr)	0–17	75		59	
C-reactive protein (mg/liter)	<15			143.8	
Immunoglobulin (mg/dl)					
IgG	283–1026			815	
IgA	16–82			61	
IgM	39–141			60	

* Reference ranges for laboratory testing performed in India include hemoglobin 13 to 18 g per deciliter, white cells 4000 to 10,000 per cubic millimeter, neutrophils 40 to 75%, lymphocytes 20 to 45%, and eosinophils 1 to 6%.

